

## ◆ 2 年理科野外巡検 (10 月) マングローブ・褶曲・GODAC で終日研修

本校では 2 年生全員による、沖縄島北部の自然学習「理科野外実習」を毎年実施しています。沖縄島南部とは異なる地質に植生も異なる



(名護市:横臥褶曲)

る北部の森林を車窓から観察し、また国指定天然記念物に指定されている東村慶佐次のマングローブ・ヒルギ公園ではマングローブを構成するヒルギ 3 種類の見分け方やカニ類の観察などを行います。また、GODAC (国際海洋環境情報センター) で水圧実験や海水の二酸化炭素吸収の仕組み、また今年から新たに海洋に漂うゴミについて学習を行いました。



(GODAC:海洋の仕組み学習)

二酸化炭素吸収の仕組み、また今年から新たに海洋に漂うゴミについて学習を行いました。



(東村 慶佐次マングローブ林)

## ◆ 1 年「地理歴史・公民科巡検事前学習会 (11 月)」

本校は、周辺に「港川フィッシャー遺跡」や「サキタリ洞くつ遺跡」など考古学的に重要な遺跡を教材とした、地歴公民科の地歴巡検学習があります。



(特別授業の様子)

理数科では今年から新たに S S リテラシーの授業で放射性同位体を用いた年代測定法など(理系分野で)の学習も行いました。11 月 18 日は 1 年生全クラスで、県立博物館学芸員:澤浦氏を招いた特別授業を行いました。

人類がアフリカ大陸で誕生し、世界中に分布を拡大させた中で、日本や沖縄にどのような人類がたどり着いたのか? 流れの速い黒潮を乗り越えて



沖縄の島々にたどり着いた人々が港川人と呼ばれる人々です。彼らは数年前までは私達の祖先と考えられていたが DNA 解析が進み南方の島々の人々に近いことが新たに分かり、復元図が訂正されたことが分かりました。講演後生徒から南部以外にも港川人は発見される可能性はあるのかなど質問があり、充実した学習会になりました。11 月末の実習が楽しみです。

## ◆ 2 年理数科 研究授業(数学)

11 月 22 日に 2 年理数科の授業で県指定進学力重点拠点校の公開研究授業が行われました。授業では探究する力を身につける目的で、グループ学習を取り入れることで深い学びを目指し、今ある知識を活用し新たな問題を解くため話し合いながら各自問題を解いていきました。余弦定理を使った解法や新たに学習したベクトルを使って面積を求めるなど、多面的に問題解きました。授業後に各自気づきシートを記入し課題を確認しました。

